

第4回「あいのうた～出会いから子育てまでの短歌コンテスト～」受賞作品一覧

1 最優秀賞（各部門1首）

一般の部	「ママどうぞ」小さな砂のおだんごは 創業二年のやさしいお味 東京都江戸川区 <small>ながお いくこ</small> 長尾 郁子
ジュニアの部	自分さえ忘れてしまった祖父だけど 思い出はまだ僕が覚えてる 静岡県立科学技術高等学校3年 <small>かつまた こうすけ</small> 勝又 康介

2 優秀賞（各部門2首）

一般の部	かけっこの桃色ぼうし追ううちに 青も黄色もみんながんばれ 東京都足立区 <small>おの ふみ</small> 小野 史
	障害の区分認定用の診断書 なんだかなあって君抱き寄せる 三重県松阪市 <small>こやま はつみ</small> 小山 肇美
ジュニアの部	「がんばって」毎朝母が言う言葉 一言だけど一言じゃない 静岡県立御殿場高等学校3年 <small>くりはら ゆうな</small> 栗原 優奈
	バタフライ水面飛び出し息を吸う その時間こえた父の「がんばれ」 静岡市立清水第七中学校1年 <small>たちかわ りゅうだい</small> 立川 隆大

3 審査員特別賞（各部門2首）

一般の部	捕虫網かまえて君は追いかける パパの背よりも高く飛ぶもの 東京都新宿区 <small>はやし ゆみ</small> 林 由実
	おとなしい兄のケンカの原因は 悪く言われた弟のため 京都府宇治市 <small>のい</small> 野井 さくら
ジュニアの部	肩こりの母の背中に湿布貼る 一日おきのふたりの時間 静岡市立清水第七中学校1年 <small>つちや まやな</small> 土屋 摩弥奈
	火傷して傷が増えてく肌色は 家族の暮らしを支え続ける 静岡県立天竜高等学校3年 <small>ふじた しょうへい</small> 藤下 翔平

4 入選

<一般の部>

君の立つバッテリーボックス見てるのが 怖くて空を見上げて祈る	愛知県東海市 安 ^あ 保 ^ぼ 紀 ^{のり} 子 ^こ
老夫婦マイク手にして呼びかける 「なくそう核兵器」 炎暑の歩道	千葉県四街道市 上 ^{うえ} 田 ^た 康 ^{やす} 彦 ^{ひこ}
湯上がりの裸の君はつやつやで 剥いた玉ねぎみたいに転がる	茨城県桜川市 海 ^え 老 ^は 原 ^ら 順 ^{じゅん} 子 ^こ
「母さんを頼むぞ」と言ふ父のいて 「パパをお願い」と言ふ母がいる	兵庫県明石市 小 ^お 田 ^だ 虎 ^{たけ} 賢 ^{とし}
シリウスを二人の星と定めて 共に眺める遠距離の恋	山口県周南市 熊 ^{くま} 本 ^{もと} 芳 ^{よし} 郎 ^お
帰省する我が子想いて老いた手で ヤッコラセっと布団ズレ干す	静岡県藤枝市 鈴 ^{すず} 木 ^き 和 ^{かず} 男 ^お
母さんの足踏みミシン縁側に 昭和平成カタカタ生きる	山口県宇部市 中 ^{なか} 本 ^{もと} 亜 ^あ 矢 ^や 子 ^こ
「ママここらへんにいてね」と駆けてゆく 「らへん」の範囲が広がってゆく	群馬県渋川市 忽 ^ぬ 滑 ^{かり} 谷 ^や 三 ^み 枝 ^え 子 ^こ
初めてのおつかひに行く吾子の後 刑事のごとく妻は歩きぬ	静岡県袋井市 野 ^の 村 ^{むら} 久 ^{ひさし}
とりになりお魚になりママになる 一度きりだよ五さいの夏は	東京都調布市 長 ^は 谷 ^{せが} 川 ^わ 律 ^{りつ} 子 ^こ
忘れてた意味ある言葉を言う前の 泣き声さえも好きだったこと	静岡県焼津市 増 ^{ます} 田 ^だ 浩 ^{こう} 二 ^じ
ほんとうは君の名前を聞きたくて 犬の名を聞く朝のはるかぜ	神奈川県藤沢市 松 ^{まつ} 下 ^{した} ま ^ま き
こうくんはチョークの線路を走って からだまるごと列車になって	神奈川県横浜市 水 ^{みず} 野 ^の 真 ^ま 由 ^ゆ 美 ^み
いのちすくつてくれてありがと、テーブルに ノロの癒へたる児の手紙あり	兵庫県神戸市 渡 ^{わた} 辺 ^{なべ} 美 ^み 穂 ^ほ 子 ^こ
「カッコいいパパ」を産んでとねだる孫 リカちゃん人形湯船に浮かべ	千葉県柏市 渡 ^{わた} 会 ^{らい} 克 ^{かつ} 男 ^お

<ジュニアの部>

カットバンをいつもはってくれるかあさんが けがをしたからぼくのでばんだ 光市立光井小学校1年 横道 玄 <small>よこみち ひかる</small>
「溶けちゃう」とアイスと戦う君を見る ああ僕も君の「愛す」になりたい 静岡県立御殿場高等学校2年 三沢 花夏 <small>みさわ はるか</small>
熱が出て寝込んだ時の母親の 作ったおかゆが一番うまい 静岡県立天竜高等学校1年 兵藤 葵 <small>ひょうどう あおい</small>
ゴギョウとは「母子草」だと教わって 何だか好きになっていた春 静岡市立清水第七中学校3年 中本 清香 <small>なかもと さやか</small>
新幹線単身赴任の父を乗せ 東の空へカーブしてゆく 静岡市立清水第七中学校3年 中村 萌菜子 <small>なかむら もなこ</small>
私の木父は根の役母は幹 私は葉っぱ妹は花 磐田市立田原小学校6年 横山 萌香 <small>よこやま もえか</small>
おっきめのわっぱまわしてゆくさきへ 俺の憧れトラック野郎 静岡県立科学技術高等学校1年 成田 詩音 <small>なりた しおん</small>
向日葵の波に逆らい祖父は逝く 語り継がれる古びた赤紙 静岡県立科学技術高等学校1年 出崎 公大 <small>でさき こうた</small>
よく動く元気いっぱい弟の 遊ぶ姿はスーパーボール 静岡県立科学技術高等学校1年 小池 妃那里 <small>こいけ ひなり</small>
ただいまといえない日々が続いても 行ってきますは必ず言うよ 静岡県立科学技術高等学校1年 宮城島 つぐみ <small>みやぎしま</small>
洗濯物気付いた時はダンスの中 その繰り返しで支えられている 静岡県立科学技術高等学校2年 小関 修平 <small>おげき しゅうへい</small>
咲いた花美しいなら土もまた 美しいはず人も同じだ 静岡県立科学技術高等学校3年 中田 亮太 <small>なかだ りょうた</small>
歩いたらカラカラ氷の音がする ママの麦茶が一番おいしい 堺市立美木多小学校3年 谷川 ゆかり <small>たにかわ</small>
大丈夫キミは太陽なんだから いるだけでいい在るだけでいい 静岡サレジオ高等学校1年 高田 愛弓 <small>たかだ あゆみ</small>
完熟のトマトのような陽が沈む ふと思いだす父との収穫祭 静岡県立静岡農業高等学校3年 若佐 夏未 <small>わかさ なつみ</small>